



(一社)日本鋼構造協会

# 2021年度 鋼構造研究助成事業 選考結果報告

報告：学術委員会 委員長  
竹内 徹(東京工業大学)



## <応募資格>

個人会員および準会員(学生含む)で、  
39歳以下の者(2021年3月31日時点)

## <応募テーマ・条件>

・従来の建築・土木分野の鋼構造研究に加え、

①未来の鋼構造を担う「新しいアイデア」や  
「課題設定」に関する調査等にも拡大、

②研究成果の寄稿先を「鋼構造論文集」に限定、

③助成金額を1グループ最大100万円に拡大、  
して募集を実施。



## <応募状況>

- 募集期間: 2021年4月上旬～5月14日(金)
- 応募総数: 10件(建築6件、土木4件)

## <選考過程>

- 2021年7月1日:  
学術研究助成小委員会での審査により、  
4件を助成対象候補として選定
- 2021年7月19日:  
学術委員会で4件を選定を承認。  
運営委員会へ上程
- 2021年8月4日:  
運営委員会で4件の助成を承認



## 2021年度 鋼構造研究助成事業 助成対象一覧

	分野	研究テーマ名	代表者
1	建築	繰返し荷重を受ける鋼部材の温度計測による損傷評価法の構築と計測方法に関する研究	東京理科大学大学院 崎山 夏彦
2	建築	鋼材ダンパーを免震構造用フェイルセーフ機構として活用する可能性の検討	大阪大学大学院 畑中 祐紀
3	土木	既設リベット橋の補修設計と残存耐力評価に資するリベットの材料構成則モデルの開発と金属組織・化学成分の実態調査	熊本大学大学院 森山 仁志
4	土木	曲げを受ける当て板と鋼板の接着接合部の疲労強度の向上とはく離防止設計法の提案	宇都宮大学 THAY VISAL (タイ ウィサル)